

	NTTデータ	エンテラシス・ネットワークス	京セラコミュニケーションシステム(KCCS)	
	SecureAccess (セキュアアクセス)	NOSIDE PC検疫LAN	Secure Networks / Trusted End-Point / Dynamic Intrusion Response	NET BUREAU POLICY ENFORCER
	認証スイッチ方式	認証スイッチ方式	認証スイッチ方式	認証スイッチ方式 (各種ゲートウェイで対応)
	TrustConnector (米フェニックス・テクノロジーズ, NTTデータ)	Web ブラウザ	SygateもしくはZoneLabsのクライアント・セキュリティ・ソフト	NET BUREAU POLICY ENFORCERクライアント (KCCS), USBキー, VirusScan (マカフィー)
	VLAN対応LANスイッチ (SNMPで制御)	Apresia (日立電線), NetScreen (米ジュニア・ネットワークス)	Matrix N3 (エンテラシス・ネットワークス), RoomAbout AP3000 (同)	KCCSのデータ・センター内の各種ゲートウェイで実現
	SecureAccess検疫モジュール (NTTデータ)	NOSIDEサーバー (NTTデータ先端技術)	NetSight Atlas Console, 同 Policy Manager, Dragon Network Sensorほか (エンテラシス・ネットワークス), SygateもしくはZoneLabsのRADIUSプロキシ	KCCSのデータ・センター内に用意したNET BUREAU POLICY ENFORCERサーバーを利用
	ネットワーク接続時にパソコンのBIOSとTrustConnectorでパソコンを認証し、接続を許可されているパソコンであればWebブラウザに読み込んだActiveXコントロールでセキュリティ状況をチェック。その内容をサーバーに通知し、チェック内容に応じてスイッチのVLAN設定を切り替える	パソコン接続時にスイッチで検疫ネットにあるサーバーにつき、WebブラウザへActiveXコントロールをダウンロード。サーバーとの間でパソコン登録とチェックを行い、合格すればスイッチに指示を出し社内ネットにつなぐ。スイッチの代わりにゲートウェイの設定変更で処理する方式もデモ	電子証明書を利用したIEEE802.1X認証でユーザーを認証。認証機能のない端末はWebもしくはMACアドレスで認証。クライアント側ソフトでセキュリティ・ポリシーをチェックし、スイッチでアクセス先を制御する。社内ネット接続後も通信をチェックし、異常があれば検疫ネットに隔離する	USBキーを使う認証方式のほか、専用のクライアント・ソフトを使う方法も実演。パソコンのセキュリティ状況を100点満点でチェック。認証と検疫は、データ・センターにあるサーバーで実施。接続は各種ゲートウェイを介して制御するほか、IEEE802.1X認証も利用可能
	未定	651万円～ (NOSIDEサーバー1000クライアント・ライセンス)	191万8000円～ (認証スイッチとサーバー・ソフト)	1ユーザー当たり2300円/月 (基本料が別途必要)

	トレンドマイクロ	日本アルカテル	日本エフ・セキュア	日本テレコム
	Trend Micro Network VirusWall 1200/2500	OmniSwitch	F-Secure 検疫コントローラ	SecureLANs 検疫ネットワークソリューション
	セキュリティ・ゲートウェイ方式	認証スイッチ方式+セキュリティ・ゲートウェイ方式	認証スイッチ方式	セキュリティ・ゲートウェイ方式
	ウイルスバスター コーポレートエディション (トレンドマイクロ, ウイルス対策のみに使用)	Sygate Security Agent (米サイゲート)	F-Secureアンチウイルス (フィンランドのエフ・セキュア), Web ブラウザ	Net/Attest LogOn (ソリトンシステムズ)
	Trend Micro Network VirusWall 1200/2500 (トレンドマイクロ)	OmniSwitch6800 (仏アルカテル), FortiGate (米フォーティネット)	Apresia (日立電線)	Net/Attest Security Filter (ソリトンシステムズ)
	Trend Micro Control Manager エンタープライズ (トレンドマイクロ)	Sygate Management Server (米サイゲート), LAN Enforcer (同), OmniVista (仏アルカテル)	F-Secure 検疫コントローラ (日本エフ・セキュア)	Net/Attest Policy Server (ソリトンシステムズ)
	ウイルスバスターの状況やパッチの適用状況をNetwork VirusWallでチェックし、不備があったら指定した画面を表示し、対処させる。ウイルスに感染したクライアントの通信を検出したらその通信をNetwork VirusWallで隔離し、サーバーから復旧ツールを自動実行させる	IEEE802.1XおよびWeb認証を利用した検疫ネットワーク。Sygate Security Agentを一元管理するSygate Secure EnterpriseとForinetのアプリケーション・レイヤー・ゲートウェイを組み合わせて、事前処理と事後処理を実現。資産管理システムとの連携も実演させる	セキュリティ・チェックはF-Secureアンチウイルスが実行。クライアントと検疫コントローラ間でIDとパスワードによる認証を実施すると、パターン・ファイルを最新のものに自動更新。その後の切り替えは、Webブラウザに読み込んだActiveXコントロールと認証スイッチが制御する	VPNサービスの一環として、VPN経由で社内LANにアクセスしてパソコンのセキュリティ状況をチェックし、問題があるパソコンはアクセスさせないというサービスをデモで実演
	47万9000円 (Network VirusWall 1200) ほか	150万円～ (OmniSwitch6800-U24)	200万円 (クライアント数に制限なし、認証スイッチ除く)	28万円/月～ (センター側サーバー料金), 3万円/月～ (拠点側機器料金) ほか